

江戸川区 中小企業の景況

令和4年1月～令和4年3月期

調査対象 製造業 159社 小売業 73社
サービス業 59社 建設業 52社

調査方法 面接聴取法








調査機関 (一社) 東京都信用金庫協会




分析作成 (株) 総合企画




本概要版は、令和4年3月上旬に調べた景気動向と、これから先の3か月間(令和4年4～6月期)をまとめたものです。
なお、業績等についてはDI値を中心に分析しています。




※ D. I (Diffusion Index) の略




D. I (ディーアイ) は、増加(又は「上昇」「楽」など)したと答えた企業割合から、減少(又は「下降」「苦しい」など)したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

	大きく上昇	上昇	やや上昇	横ばい	やや下降	下降	大きく下降
							
	好調 ←		普通			→ 不調	
製造業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下
小売業	10以上	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31～-40	-41以下
サービス業	15以上	14～5	4～-5	-6～-15	-16～-25	-26～-35	-36以下
建設業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下

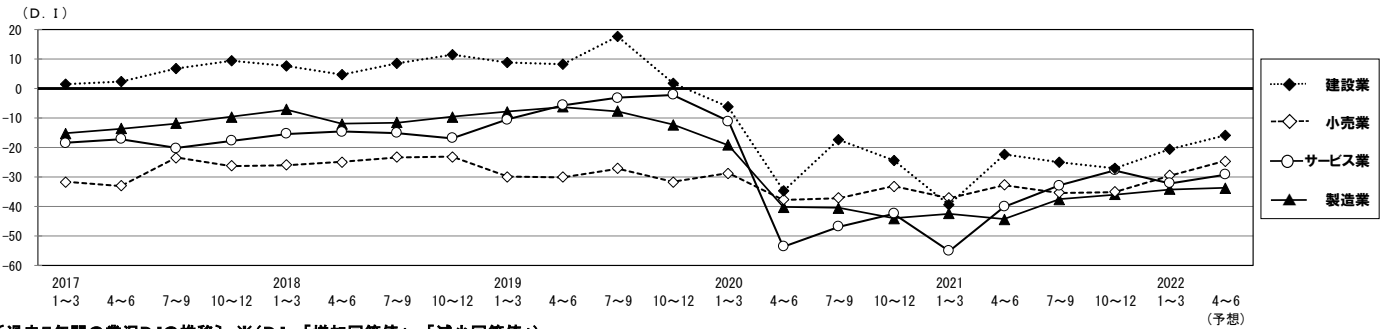
製造業	前期		-36.0	業況DI(Δ36.0→Δ34.2)は前期並の厳しさが続きました。売上額(Δ31.8→Δ34.2)と収益(Δ32.4→Δ34.5)は減収・減益傾向がやや強まりました。 来期の業況(Δ33.8)は今期並に推移すると見ており、売上額(Δ28.6)は減少傾向がやや改善し、収益(Δ28.2)は減益傾向が大きく改善すると予想しています。
	今期		-34.2	
	来期		-33.8	

小売業	前期		-35.1	業況DI(Δ35.1→Δ29.5)は悪化傾向がやや弱まりました。売上額(Δ28.0→Δ20.7)は減少傾向が大きく改善され、収益(Δ27.4→Δ24.0)も減益傾向がやや改善しました。 来期の業況(Δ24.6)は悪化傾向が幾分弱まり、売上額(Δ17.1)と収益(Δ19.9)は減少・減益傾向がやや改善すると予想しています。
	今期		-29.5	
	来期		-24.6	

サービス業	前期		-27.7	業況DI(Δ27.7→Δ32.2)は悪化傾向がやや強まりました。売上額(Δ19.5→Δ24.9)は減少傾向が幾分強まり、収益(Δ25.3→Δ27.8)も減益傾向がやや強まりました。 来期の業況(Δ29.2)は多少持ち直すと予想しています。売上額(Δ17.3)は減少傾向が大きく改善され、収益(Δ23.3)も減益傾向がやや改善すると予想しています。
	今期		-32.2	
	来期		-29.2	

建設業	前期		-27.0	業況DI(Δ27.0→Δ20.6)は悪化傾向が大幅に弱まりました。売上額(Δ16.6→Δ17.7)は前期並でしたが、収益(Δ38.8→Δ30.5)は減益傾向が大きく改善しました。 来期の業況(Δ15.8)は悪化傾向が多少持ち直し、売上額(Δ13.9)と収益(Δ25.5)も減少・減益傾向が幾分改善すると予想しています。
	今期		-20.6	
	来期		-15.8	

江戸川区の中小企業／業種別景況の推移



【過去5年間の業況D.I.の推移】※(D.I)=[「増加回答値」-「減少回答値」]

	2017				2018				2019				2020				2021				2022	
	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6 (予想)
製造業	-15.3	-13.6	-11.8	-9.7	-7.1	-12.0	-11.6	-9.6	-7.9	-6.2	-7.7	-12.3	-19.2	-40.2	-40.6	-44.0	-42.5	-44.3	-37.6	-36.0	-34.2	-33.8
小売業	-31.7	-33.1	-23.4	-26.3	-25.9	-24.9	-23.3	-23.2	-29.9	-30.1	-27.2	-31.7	-28.7	-37.8	-37.1	-33.2	-37.2	-32.7	-35.4	-35.1	-29.5	-24.6
サービス業	-18.5	-17.2	-20.3	-17.7	-15.4	-14.7	-15.1	-16.9	-10.5	-5.6	-3.2	-2.2	-11.1	-53.7	-46.8	-42.4	-55.1	-40.1	-32.9	-27.7	-32.2	-29.2
建設業	1.5	2.4	6.7	9.5	7.6	4.6	8.4	11.5	8.7	8.3	17.6	1.8	-6.1	-34.8	-17.4	-24.5	-39.3	-22.3	-24.9	-27.0	-20.6	-15.8

経営者から寄せられた声 (2022年1~3月)

【景況全般について】

- 半導体不足等により、内示に対して確定が落ち全般的に悪くなってきている。(製造業)
- 1月の景気は底冷えしていた。2月末からは少しずつ客足が戻ってきたと感じてきたが、ガソリン高騰のあおりを受け、停滞している。(小売業)
- 全体の印象としては、徐々に回復傾向にあると思われるが、燃料の高騰が相当な負担になってきて、今後の経営の重しとなりそうだ。(サービス業)

【受注・売上・単価・仕事量について】

- 今年になってから、コロナ、ウクライナが関係しているかどうかは不明だが受注が半減している。3月はほとんど仕事ができなかった。節約に努めているが、原材料が値上がりし、この先会社を維持していけるか不安だ。(製造業)
- 年度末にもかかわらず、大幅に売上が落ちており、過去にないほど悪い状況だ。(小売業)

【経営上の課題について】

- コロナ感染前までとは程遠い状況で資金繰りに苦労している。(製造業)
- 景気は横ばい状態に感じるが、数年後を見越して、若い人材の確保が最大の重要事項と考えている。しかし、ハローワークなどに求人を出しても、ここ数年応募が全くない状況。(小売業)
- 弊社のような零細企業は、慢性的に人材の不足が続いており、募集を継続的にかけているが、応募は皆無の状況。(建設業)

【経営改善等に向けての取組み】

- 労務費、電気料、原材料、副資材、運賃等の購入価格上昇に伴い、各顧客と価格改定の申請を行っている。(製造業)
- 現在の取組みとして不採算な作業をなるべく省くように心掛けている。(サービス業)
- 新型コロナウイルスの感染拡大により、工事の休止、工期の遅延、資材納入の遅れ、自粛体制による受注の減少があった。営業もしくにくい状況のため、電話での営業を中心に受注を獲得している。(建設業)

江戸川区の企業倒産動向 (2022年1~3月)

江戸川区の企業倒産動向

2022年1~3月期の江戸川区の倒産件数は、前期比増減なしの7件(前期7件)、負債総額は前期比41.6%減の3億66百万円(前期6億27百万円)でした。

業種別にみると、件数では“建設業”と“情報通信業・運輸業”が2件、“製造業”“卸売業”“その他”が各1件であった。負債総額は“建設業”が2億15百万円、“製造業”が90百万円、“情報通信業・運輸業”が41百万円でした。

(単位: 件・百万円)

	前年同期 2021年1~3月		前期 2021年10~12月		今期 2022年1~3月	
	件数	負債総額	件数	負債総額	件数	負債総額
製造業	0	0	1	10	1	90
卸売業	3	70	1	10	1	10
小売業	2	49	1	21	0	0
サービス業	1	20	1	10	0	0
建設業	4	210	1	76	2	215
不動産業	1	20	1	490	0	0
情報通信業・運輸業	1	10	0	0	2	41
宿泊業・飲食サービス業	1	120	1	10	0	0
その他	0	0	0	0	1	10
合計	13	499	7	627	7	366

江戸川区 産業経済部 産業経済課 計画係

TEL: 03-5662-9014(直通)